

カブリナウイングを長くお使いいただくために

いつもカブリナウイングをお使いいただき、ありがとうございます。
ウイングの故障を防ぎ、長くお使いいただくためのヒントやコツを記載しました。
お役立てください。

セッティング時



ウイングは膨らませる前に固定します。突然のブローにも飛ばされないよう十分な重さのあるものに固定しましょう。



夏場など気温が高い時に膨らませたウイングを陸上に置く時間は極力減らしましょう。ex. 先にボードをセッティングする、着替えるなど準備の順番にも工夫を。



空気挿入用パーツ、エアロックバルブはまっすぐ挿入し、強く締めすぎないでください。
ポンプのホースはウイングの挿入口にまっすぐに差し込み取り付けてください。



ウイングの性能を十分に生かすため、空気は規定値に沿った量を入れましょう。



均等に空気が行き渡っているか目視しながら空気を入れましょう。外側から見て凹みやシワがある場合はブラダーがねじれている可能性があります。そのまま膨らませるとパンクの原因となります。

凹みやシワがある場合：

空気を少量挿入した状態で、ファブリックの外側からブラダー内の空気を移動させるように両手でパンパン軽く叩きます。その後ゆっくりと空気を挿入していきませんが、凹みやシワがなくなる場合は無くなるまで同じ工程を繰り返します。



尖ったものや粒の細かい砂、トゲのある草等がある場所ではブラダーに小さな穴が開く恐れがあります。セッティングの際の場所選びに注意が必要です。

セッションの合間に



使わないウイングは空気を抜いて片付けます。空気を入れたウイングをビーチに置いたままにすることは劣化に繋がります。



03モデルのウイングではハンドルのネジが緩んでいないことを定期的にチェックしましょう。



コンクリートや夏場の砂浜など、暑くなる場所に長時間ウイングを置かないようにしましょう。接着剤が溶ける可能性があります。

使用后



砂や汚れを落とし、乾かしてから収納しましょう。



特に夏場は車の中が高温になります。ブラダーの接着剤が溶け出す可能性もありますので注意が必要です。



リーディングエッジのハンドルのみを使って下げるようにウイングを干すと、ストラットブラダーが折れ曲がることがあります。そのまま空気を挿入するとブラダーのパンクに繋がる恐れがあります。

その他



03モデルのウイングではリストリーシュは別売です。



リストリーシュのベルク口はきつめにしっかり装着してから出艇しましょう。またベルク口は劣化しますので、注意が必要です。



バッグのポケットにリペアキットが入っています。四角いシートの無地のシートはブラダー用、模様が入っているシートと丸いパッチはキャンピー用です。ブラダーの修理方法はこちらでご覧になれます：
<https://youtu.be/E5fR4HJ-zLQ>



ご質問やお問い合わせはカブリナ正規ディーラーまでお願いいたします